100点

189.9点

456.6点

予防+衝突+事故自動通報

※事故自動緊急通報装置の対象となる高度後遺障害者の抽出および重傷者低減数の推定が現状困難

## 予防・衝突等統合の配点試算(昨年度第3回検討会資料2-1)

## 〈前提条件〉

- ・事故分析対象:予防装備の基準年(2009年)
- ・事故件数および1当+2当の死傷者数(衝突安全評価に合わせて30日死亡で算出)
- ·衝突安全の事故低減数に関しては、現行の算出方法(2010~2014年のマクロ事故分析の死亡・重傷率)から推定
- ・社会損失額の基礎額は死亡: 24,452万円, 重傷:1,825万円
- ・予防安全の換算後配点(①)は, ITARDAの事故低減効果分析結果(対車両AEBで0.5)を全ての装置に適用(将来的には分析結果の追加に応じて見直し)
- ・事故自動緊急通報装置の換算後配点(①)は, 2015·2016年の死亡事故で発生場所が公開されている地点(2411件)の通信サービスエリアをもとに3988に設定

予防安全							$\Theta$	<b>©</b>	<u></u>			
井米タ	対象死傷者数(30日死亡)	4000年	死傷者低減数	氐減数	社会損失額	換算前配点	換算後配点	換算後配点	換算後配点	参表	考:予防内割台	<b>4</b> 0
从 一	死亡者 重傷者	メエド判件寺	死亡者	重傷者	(百万円)	(1点=10億)	(1点=10億)	(衝突100点)	(全体100点)	今回	現行	配点
対車両被害軽減ブレーキ	1961 77	1.0	77.0	1951.0	54,434	54.4	27.2点	11.3点	6.0点	14%	23%	33点
対歩行者被害軽減ブレーキ [昼間]	207 1176	1.0	207.0	1176.0	72,078	72.1	36.0点	15.0点	7.9点	18%	18%	25点
対歩行者被害軽減ブレーキ [夜間]	642 1355	1.0	642.0	1355.0	181,711	181.7	90.9点	37.8点	19.9点	46%	39%	55点
車線逸脱抑制装置	235 630	8.0	188.0	504.0	55,168	55.2	27.6点	11.5点	6.0点	14%	11%	16点
後方視界情報提供装置	23 497	0.7	1.91	347.9	10,286	10.3	5.1点	2.1点	1.1点	%E	4%	6点
ペダル踏み間違い時加速抑制装置	2 2	1.0	7.0	0.89	2,953	3.0	1.5点	0.6点	0.3点	%2'0	1.4%	2点
ちょう おおり おり おり おり おり はんしょ おいま おいま おいま おいま おいま おいま おいま おいま かんりん かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう しょう しょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	32 44	0.81	25.5	35.5	17 540	17.5	上のの	3.7.占	101	%V	%V	т П
同な品が添わ	76 61	0.54	41.1	33.2	0+0,1		0.0 m	0.7 AM	1.9 AR	R/F	ř	<b>元</b>
予防安全合計	1299 5782	_	1203.7	5470.5	394,168	394.2	197.1点	82.0点	43.1点	100%	100%	142点
衝突安全												
<i>4</i> ⇔4 +=	対象死傷者数(30日死亡)	本 田 田 田	死傷者(	低減数	社会損失額		換算後配点	換算後配点	換算後配点	参表	考:衝突内割6	<b>4</b> 0
弘明七	死亡者 重傷者	文] 大 上 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	死亡者	重傷者	(百万円)		(1点=10億)	(衝突100点)	(全体100点)	今回	現行*2	配点
フルラップ前面衝突試験	156 2266	JNCAP-法規	139	1176	55,450		55.5点	23.1点	12.2点	73%	21%	21点
オフセット前面衝突試験	156 2266	UNCAP-法規	139	1176	55,450		55.5点	23.1点	12.2点	73%	21%	21点
側面衝突試験	1352	JNCAP-法規	82	734	33,446		33.4点	13.9点	7.3点	14%	15%	15点
後面衝突頚部保護試験	3 979	JNCAP	3	135	3,197		3.2点	1.3点	0.7点	1.3%	2%	2点
步行者頭部保護試験	207	JNCAP-法規	288	432	78,306		78.3点	32.6点	17.1点	/03 C	/0 L C	32点
步行者脚部保護試験	30 1835	JNCAP-法規	2	237	4,814		4.8点	2.0点	1.1点	0.00	0.10	5点
シートベルトリマインダ(現行:助手席+後席)	87 562	JNCAP	25	195	9,672		9.7点	4.0点	2.1点	% <b>7</b>	4%	4点
(法規適用後:後席警報の効果*1)	(52) (411)	(JNCAP-法規)	(2)	(67)	(2,445)		(2.4)点	(1.0)点	(0.5)点			
衝突安全合計	1035 9829	I	8/9	4085	240,336		240.4点	100.0点	52.7点	100%	100%	100点
事故自動通報	*1 シートベルトリマインダの法規適用後(後席警報の効果)	5月後 (後席警報の効	<u></u>	ま,JAMAの事	こついては, JAMAの事故分析結果を反映				*2:2018年度	度改定(2010-2014年事故デ		一夕を使用)
<b>非</b>	対象死傷者数(30日死亡)	安今佐酎密笙	死傷者低減数	氐減数	社会損失額	換算前配点	換算後配点	換算後配点	換算後配点			
教員力	死亡者 重傷者	メキト判牛寸	死亡者	重傷者	(百万円)	(1点=10億)	(1点=10億)	(衝突100点)	(全体100点)			
事故自動緊急通報装置	<b>%</b> 6 <i>L</i>	1.0	79	*	19,317	19.3	19.1点	7.9点	4.2点			

## 予防・衝突等統合の配点試算(2019.6.24修正案)

## 〈前提条件〉

- •事故分析対象:予防装備の基準年(2009年)
- ・事故件数および1当+2当の死傷者数(衝突安全評価に合わせて30日死亡で算出)
- ・衝突安全の事故低減数に関しては、現行の算出方法(2010~2014年のマクロ事故分析の死亡・重傷率)から推定
- ・社会損失額の基礎額は死亡:24,452万円, 重傷:1,825万円
- ・予防安全の換算後配点(①)は, ITARDAの事故低減効果分析結果(対車両AEBで0.5)を全ての装置に適用(将来的には分析結果の追加に応じて見直し) ・事故自動緊急通報装置の換算後配点(①)は, 2015-2016年の死亡事故で発生場所が公開されている地点(2411件)の通信サービスエリアをもとに0.988に設定

予防安全								①	3	3			
<b>非</b> 器 <b>夕</b>	対象死傷者	対象死傷者数(30日死亡)	中令作動家等	死傷者	低減数	社会損失額	換算前配点	換算後配点	換算後配点	換算後配点	樂	参考:予防内割合	Απ
<b>教</b> 自力	死亡者	星傷者	メキト判牛寺	死亡者	重傷者	(百万円)	(1点=10億)	(1点=10億)	(衝突100点)	(全体100点)	今回*3	現行	配点
対車両被害軽減ブレーキ	17	1961	1.0	77.0	1951.0	54,434	54.4	27.2点	11.3点	6.0点	14%	23%	33点
対歩行者被害軽減ブレーキ [昼間]	207	1176	1.0	207.0	1176.0	72,078	72.1	36.0点	15.0点	7.9点	18%	18%	25点
対歩行者被害軽減ブレーキ [夜間]	642	1355	1.0	642.0	1355.0	181,711	181.7	90.9点	37.8点	19.9点	46%	39%	55点
車線逸脱抑制装置	235	089	8.0	188.0	504.0	55,168	55.2	27.6点	11.5点	6.0点	14%	11%	16点
後方視界情報提供装置	23	497	0.7	16.1	347.9	10,286	10.3	5.1点	2.1点	1.1点	3%	4%	6点
ペダル踏み間違い時加速抑制装置	7	89	1.0	7.0	0.89	2,953	3.0	1.5点	0.6点	0.3点	%2'0	1.4%	2点
安全不確認 完整 安全不確認	32	44	0.81	25.5	35.5	17.540	17.5	10.8	3.7占	19日	4	%4	Д
前方不注意	76	61	0.54	41.1	33.2	2. 2			w			2	W >
予防安全合計	1299	5782	ı	1203.7	5470.5	394,168	394.2	197.1点	82.0点	43.1点	100%	100%	142点
衝突安全										1			1
1 H H & 17	対象死傷者数(30日死亡)	数(30日死亡)	1	死傷者	低減数	社会損失額		換算後配点*2	換算後配点*2	換算後配点*2	***	考:衝突内割合	ÁΠ
品級在	死亡者	重傷者	- <b>必米</b> 配	死亡者	重傷者	(百万円)		(1点=10億)	(衝突100点)	(全体100点)	今回*3	現行*2	配点
フルラップ前面衝突試験	156	2266	JNCAP-法規	139	1176	55,450		50.5点	21.0点	11.1点	23%	21%	21点
オフセット前面衝突試験	156	2266	JNCAP-法規	139	1176	55,450		50.5点	21.0点	11.1点	23%	21%	21点
側面衝突試験	96	1352	JNCAP-法規	82	734	33,446		36.1点	15.0点	7.9点	14%	15%	15点
後面衝突頚部保護試験	3	616	JNCAP	3	135	3,197		4.8点	2.0点	1.1点	1.3%	2%	2点
步行者頭部保護試験	202	699	JNCAP-法規	288	432	78,306		月6.9年	32.0点	16.9点	250	70 L C	32点
步行者脚部保護試験	30	1835	JNCAP-法規	2	237	4,814		12.0点	5.0点	2.6点	S S	2	5点
シートベルトリマインダ (現行:助手席+後席)	87	292	JNCAP	25	195	9,672		9.6点	4.0点	2.1点	4%	4%	4点
(法規適用後:後席警報の効果*1)	(52)	(411)	(JNCAP-法規)	(5)	(67)	(2,445)							
衝突安全合計	1035	9829	1	678	4085	240,336	^	240.4点	100.0点	52.7点	100%	100%	100点
事故自動通報	*1 シートベルトリマ	インダの法規適	*1 シートベルトリマインダの法規適用後(後席警報の効果)について	ま)について	ま, ЈАМАの事	よ, JAMAの事故分析結果を反映		*2:2010-2014年事	なデータを使用	,,,	*3:2009年事	*3:2009年事故データを使用	
茶醫名	対象死傷者	対象死傷者数(30日死亡)	安全作動率等	死傷者	=	社会損失額	換算前配点	換算後配点	換算後配点	極等後配点	口20年申知2日	177年 中田 2回 森 草今 浴池 カバーフー	1/1/1
I    }	死亡者	重傷者	; - - - - - - (	死亡者	重傷者	(自万円)	(1点=10億)	(1点=10億)	(衝突100点)	(全体100点)	2018年度改定	Loot+ 反形。回検的 お具作ない 2018年度改定データにて再試算	式算が
<b>車</b>	70	*	٠,	07	×	7+0 0+	10.0	4 - 0 -	401	401			

4.2点

7.9点

19.1点

19,317

100点

189.9点

456.6点

予防+衝突+事故自動通報

※事故自動緊急通報装置の対象となる高度後遺障害者の抽出および重傷者低減数の推定が現状困難

79

事故自動緊急通報装置

総の